

デジタル サインージプレーヤー

設定説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの設定説明書をよくお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

VSP-NS7
VSPA-D7

著作権について

権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアおよび説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびこのソフトウェアを賃貸に使用することは、著作権法上禁止されております。

© 2007, 2008 Sony Corporation

ソフトウェアを使用したことによるお客様の損害、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いません。

万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

このソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。

このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

このマニュアルに記載されている事柄の著作権は当社にあり、説明内容は機器購入者の使用を目的としています。従って、当社の許可なしに無断で複写したり、説明内容（操作、保守等）と異なる目的で本説明書を使用することを禁止します。

商標について

- Microsoft、Windows および Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、本書に登場するシステム名、製品名、会社名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では、®、™ マークは明記していません。

目次

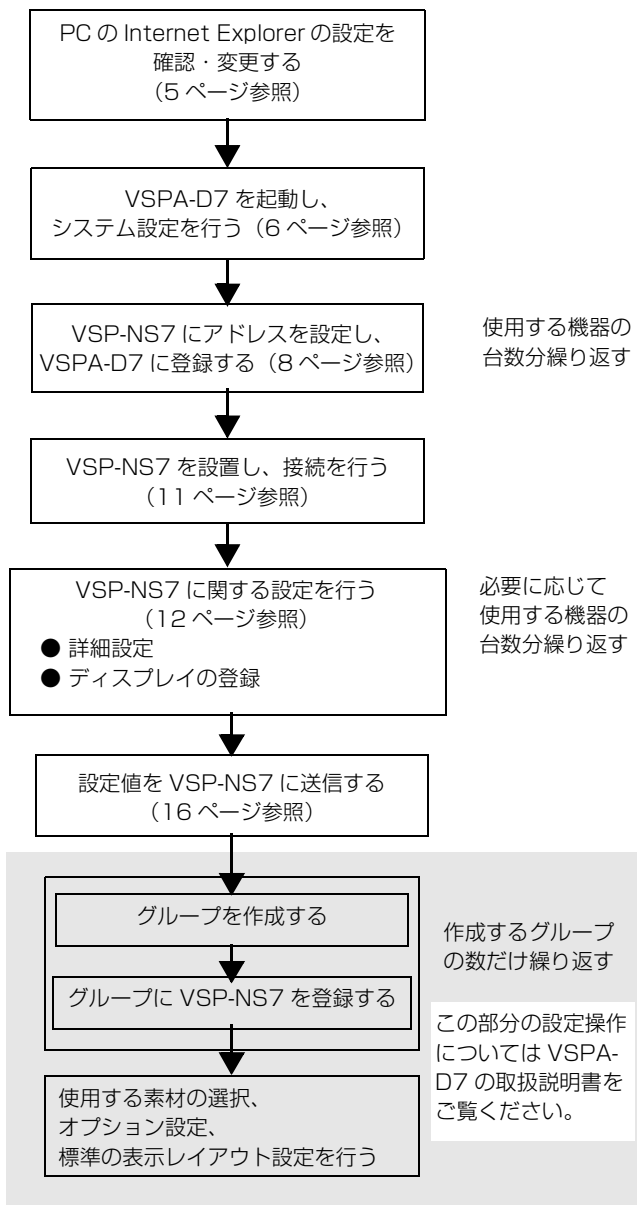
はじめに	4
設置・設定操作の流れ	4
システム導入時に必要な設定	4
設置前に行う設定	5
Internet Explorer の設定の確認・変更	5
システム全体に関する設定を行う	6
プレーヤーへのアドレス設定と VSPA-D7 への登録を行う	8
設置	11
設置後に行う設定	12
プレーヤーに関する設定を行う	12
設定データをプレーヤーに送信する	16
運用開始後の設定変更	17
プレーヤーを追加する	17
プレーヤーを削除する	17
プレーヤーのアドレスを変更する	17
プレーヤーに関するその他の設定を変更する	17
データのバックアップ	18
素材やスケジュール、設定データをバックアップする	18
バックアップされていたデータを使用する	19
プレーヤーの設定の反映	20
プレーヤーのアドレスを VSPA-D7 に登録する	20
プレーヤーに指定されているパスワードと HTTP ポート番号を VSPA-D7 に設定する	20

はじめに

この「設定説明書」は、デジタルサイネージ プレーヤー VSP-NS7 を使用したシステムの導入時に必要な設置および設定の操作を説明しています。設置時には VSP-NS7 の取扱説明書もあわせてお読みください。

設置・設定操作の流れ

次の図は、設置・設定操作の流れを表したものです。設置環境によっては、一部の設定は設置前に行う必要がありますのでご注意ください。



システム導入時に必要な設定

VSP-NS7（以降、このマニュアルでは、「プレーヤー」と呼びます）を使用するために必要な設定は、すべてデジタルサイネージ マネジメント ソフトウェア VSPA-D7 をインストールしたパーソナルコンピュータ（PC）を使用しています。

ご注意

プレーヤーの設定を行う際に、VSPA-D7 では運用に必要なデータを保存します。設定は、必ず運用に使用する PC で行ってください。

システム導入時には、次の設定を行います。

Internet Explorer の設定の確認・変更

VSPA-D7 は Internet Explorer の設定を使用し、LAN などのネットワークを介して各プレーヤーと通信を行います。VSPA-D7 を使用する PC が接続されているネットワークで通信にプロキシサーバーを使用している場合は、プレーヤーとの通信にはプロキシサーバーを使用しないように最初に設定します。

VSPA-D7 上で行う設定

設定項目は、種類別にウィンドウに分かれて表示されます。VSPA-D7 をインストール後に初めて起動すると、システムを使用するのに不可欠な項目があるシステム設定ウィンドウから VSP-NS7 機器設定ウィンドウまでが、自動的に連続して表示されます。この設定説明書をお読みになり、必要な設定を行ってください。

システム全体に関する設定

システム設定ウィンドウには、VSPA-D7 で管理するコンテンツやスケジュール、設定値などの保存場所、プレーヤーの運用時間、プレーヤーの時計を VSPA-D7 が動作している PC に常に合わせるようにするかなど、システム全体に関係する設定項目があります。

プレーヤーのアドレスの設定と登録

プレーヤーは、VSPA-D7 から随時送られてくるコンテンツや再生スケジュールなどのデータを、インターネットや LAN などのネットワークを介して受け取ります。このため、VSP-NS7 機器設定ウィンドウでプレーヤーに固定の IP アドレスを設定する必要があります。複数のプレーヤーをお使いの場合は、各プレーヤーに異なる IP アドレスを設定します。

また、個々のプレーヤーの名称と使用解像度を、設定した IP アドレスとともに VSPA-D7 に登録します。

ご注意

アドレスの設定とプレーヤーの登録は、VSPA-D7が動作しているPCが接続されているネットワークにプレーヤーを接続し、プレーヤーを自動検出させることで実行できます。プレーヤーの運用時にVSPA-D7が動作しているPCが接続されているものとは異なるネットワーク（セグメント）に接続する場合は、プレーヤーの設置前に設定を行う必要がありますのでご注意ください。

プレーヤーに関する設定


プレーヤーを実際に使用する場所に設置した後、VSP-NS7機器設定ウィンドウで、音量や設置場所のタイムゾーン、夏時間の有無などを設定することができます。ネットワーク経由で制御するディスプレイをお使いの場合は、ここで各プレーヤーで制御するディスプレイの登録も行います。

プレーヤーに関する設定が完了したら、このウィンドウから設定データをプレーヤーに送信し、設定します。

その他の設定

その他、「設置・設定操作の流れ」で灰色で表示されている部分の設定は、システムの運用を開始した後で行うこともできます。

◆ この部分の設定操作については、VSPA-D7の取扱説明書をお読みください。

各設定ウィンドウは、VSPA-D7のメインのウィンドウの左端に表示されるオペレーションガイドのボタンに対応しており、運用を始めた後でも設定を追加、変更することができます。設定ウィンドウに対応するボタンが表示されていない場合は、 をクリックして、ボタンを表示させてください。

設置前に行う設定

Internet Explorer の設定の確認・変更

プレーヤーとの通信を行う際、VSPA-D7もVSPA-M7もWebブラウザ（Internet Explorer）の設定を使用します。以下の2点の設定を行ってください。

- LANを使用してインターネットに接続する
- プレーヤーとの通信にはプロキシサーバーを使用しない

ご注意

下記の手順に表示されている画像は、Internet Explorerバージョン7.0のもので、他のバージョンの場合でも、同様に操作を行ってください。

- 1 Webブラウザ（Internet Explorer）を起動する。

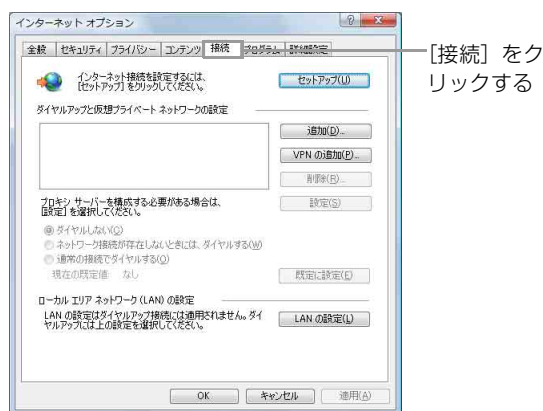
Internet Explorerのウィンドウが表示されます。

- 2 メニューバーの「ツール」をクリックし、表示されるメニューの「インターネットオプション」をクリックする。

インターネットオプションウィンドウが表示されます。

- 3 接続パネルをクリックする。

以下のウィンドウが表示されます。

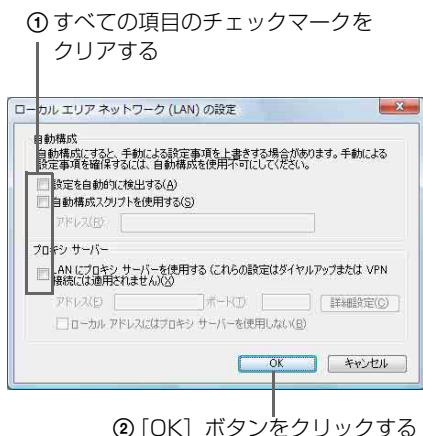


- 4 [LAN の設定] をクリックする。

ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定ウィンドウが表示されます。

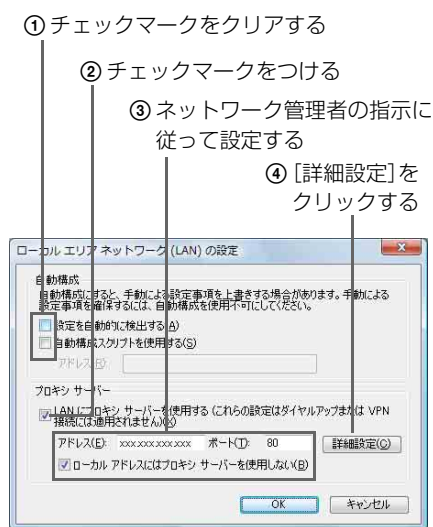
- 5 ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定ウィンドウで以下の設定を行います。

接続しているネットワークでプロキシサーバーを使用しない場合は



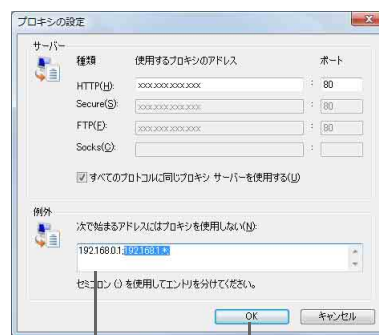
インターネットオプションウィンドウに戻ったら、手順 8 に進んでください。

接続しているネットワークでプロキシサーバーを使用している場合は



プロキシの設定ウィンドウが表示されます。

- 6 プロキシの設定ウィンドウでは、次の操作を行う。



- ② [OK] をクリックする
- ① 「次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない」に、プレーヤーに設定する IP アドレスすべてを；(セミコロン) で区切って入力する
(* (アスタリスク) を使用することで、連続した IP アドレスをまとめて指定することができます。この例では、192.168.1.1 ~ 192.168.1.254 までが指定されています。)

- 7 ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定ウィンドウで [OK] をクリックする。

インターネットオプションウィンドウに戻ります。

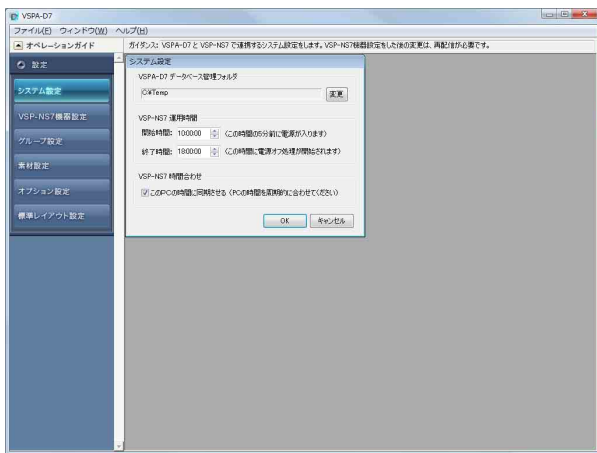
- 8 インターネットオプションウィンドウで [OK] をクリックする。

システム全体に関する設定を行う

初めに、VSPA-D7 で管理するコンテンツやスケジュール、設定値などの保存場所、使用するプレーヤーの運用時間、プレーヤーの時計を VSPA-D7 が動作している PC に常に合わせるようにするかなど、システム全体に関する設定を、システム設定ウィンドウで行います。システム設定ウィンドウは、VSPA-D7 をインストール後に最初に起動すると、自動的に表示されます。

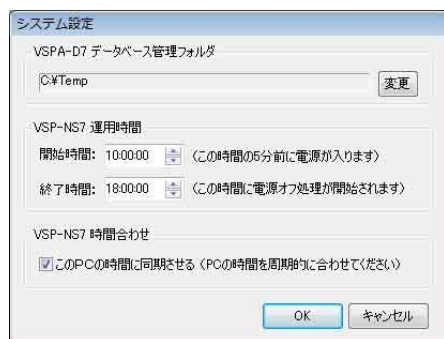
PC のデスクトップにある VSPA-D7 のショートカットをダブルクリックして、VSPA-D7 を起動する。

下記のように VSPA-D7 のメインウィンドウが表示されます。



設定の手順

下記の図は、最初に VSPA-D7 のメインウィンドウに表示されるシステム設定ウィンドウです。



1 必要に応じて設定を変更する。

設定項目についてくわしくは、下の「システム設定ウィンドウの設定項目」をご覧ください。

2 [OK] をクリックする。

システム設定ウィンドウが閉じます。
VSP-NS7 機器設定ウィンドウでの設定を行っていない場合には、自動的にウィンドウが表示されます。

ご注意

VSP-NS7 運用時間や VSP-NS7 時刻合わせを変更した場合は、プレーヤーに設定データを送信する必要があります。「設定データをプレーヤーに送信する」(16 ページ)をお読みになり、VSP-NS7 機器設定ウィンドウから送信を行ってください。

システム設定ウィンドウの設定項目

VSPA-D7 データベース管理フォルダ

素材や再生スケジュール、設定データを保存するフォルダを指定します。データは、ここで指定したフォルダに自動的に作成される VspaData フォルダに、種類ごとに分かれて保存されます。

通常は設定を変更する必要はありません。

VSP-NS7 運用時間

プレーヤーの日々の運用時間を指定します。
スケジュール再生を行う時間帯、および VSPA-D7 からデータが配信される時間帯を考慮して設定してください。プレーヤーは、指定した開始時間に運用を開始できるように起動を開始しますが、万一、指定した時間までに準備が整わないような場合は、開始時間を少し前に設定してください。

VSP-NS7 時刻合わせ：この PC の時間に同期させる

チェックボックスにチェックマークをつけることによって、システム内のすべてのプレーヤーの時計を VSPA-D7 が動作している PC に自動的に合わせることができます。プレーヤーの時刻を時刻合わせの基準となるコンピューター (NTP サーバー) に個別に合わせる場合は、ここにチェックマークをつけずに VSP-NS7 機器設定ウィンドウの詳細設定で NTP サーバーを指定してください。

ご注意

プレーヤーの時計を VSPA-D7 が動作している PC に合わせて運用する場合には、その PC には固定の IP アドレスを設定してください。プレーヤーは、時刻合わせの際にポート 123 を使用して PC にアクセスします。このため、PC でファイアウォールを使用している場合には、ポート 123 の受信を許可する必要があります。プレーヤーが運用されている時間は PC の電源をオフにせず、スタンバイ (省電力) モードにならないようご注意ください。

また、正確な時刻にしたがって運用するためには、PC の時刻を NTP サーバーに同期させるか、定期的に手動で時刻を合わせる必要があります。手動での時刻合わせは、Windows のコントロールパネルにある日付と時刻アイコンをダブルクリックし、日付と時刻のプロパティウィンドウで行います。

手動での PC の時刻合わせは、プレーヤーの運用時間を避けて実行してください。プレーヤーは起動時に時計を合わせますが、起動したあとは時計は徐々にしか調整できません。


プレーヤーへのアドレス設定とVSPA-D7への登録を行う

VSPA-D7をインストールしたPCが接続されているネットワークにプレーヤーを接続し、アドレスの設定を行います。また、プレーヤーの名称と使用解像度を、設定したIPアドレスとともにVSPA-D7に登録します。

プレーヤーを運用する場所が離れていて、VSPA-D7をインストールしたPCとは別のネットワークで使用する場合は、運用する場所にプレーヤーを運ぶ前にこの作業を行う必要がありますのでご注意ください。


アドレス設定と登録の手順

接続する

アドレスの設定時、VSPA-D7はUDP2380ポートを使用した通信でネットワーク上のプレーヤーを自動検出します。VSPA-D7が動作しているPCが接続されているネットワークにプレーヤーを1台ずつ接続してください。また、接続したプレーヤーの  端子にRGBケーブルでディスプレイを接続し、電源ケーブルを接続して電源を入れてください。

プレーヤーは、電源が供給されると自動的に起動します。

ご注意


- プレーヤーにはすべて、工場出荷時に「192.168.0.1」という同じIPアドレスが初期設定されています。このため、プレーヤーを接続するネットワーク上にすでに「192.168.0.1」というIPアドレスを持つ機器があると、その機器が正しく動作しませんので、ご注意ください。プレーヤーにアドレスを設定する作業を行う間だけその機器の電源をオフにしておいてください。
- プレーヤーを起動するためには、ディスプレイとプレーヤーの  端子をRGBケーブルで接続する必要があります。

アドレスを設定する

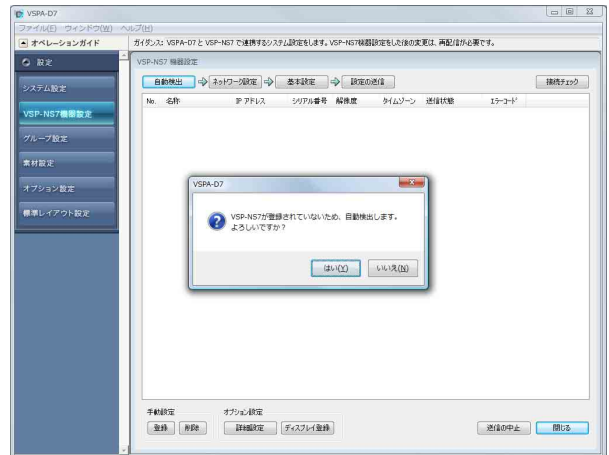
ご注意

- 各プレーヤーのIPアドレスは、重複しないように設定してください。
- VSPA-D7が動作しているPCとプレーヤーがインターネットを経由してデータを送受信するシステム構成となる場合は、各プレーヤーにグローバルIPアドレスを使用する必要があります。PCとプレーヤーがLANのみで接続されている場合は、プライベートのIPアドレスも使用できます。

使用するアドレスについては、ネットワークの管理者にご相談ください。

- VSP-NS7 機器設定ウィンドウが表示されていない場合は、VSPA-D7のメインウィンドウ左側にあるオペレーションガイド部分で、 をクリックする。

下記のウィンドウが表示されます。



- [はい] をクリックする。

VSPA-D7はネットワーク上のプレーヤーの自動検出を行います。検出されたプレーヤーには、機器のシリアル番号が入った名称が自動的に割り当てられ、VSP-NS7 機器設定ウィンドウに表示されます。



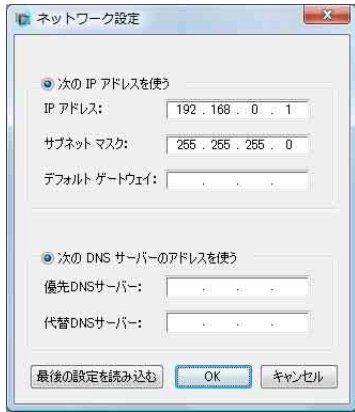
ご注意

お使いになっているネットワークでUDP2380ポートを使用した通信ができない場合は、プレーヤーが自動検出されません。

そのような場合は、「プレーヤーが自動検出されない場合は」(10ページ)をお読みになり、プレーヤーをVSPA-D7が動作しているPCに接続してアドレスを設定してください。

- 検出されたプレーヤーをリスト上で選択し、[ネットワーク設定] をクリックする。

ネットワーク設定ウィンドウが表示されます。



- 4 「次のアドレスを使う」の下にある IP アドレステキストボックスに、選択しているプレーヤーに設定する IP アドレスを入力する。また、サブネットマスクテキストボックスに設置環境に応じた値を入力する。
- 5 プレーヤーが運用時に使用するデフォルトゲートウェイのアドレスを、該当するテキストボックスに入力する。
- 6 DNS サーバーを使用する場合は、「次の DNS サーバーのアドレスを使う」の下にある優先 DNS サーバーおよび代替 DNS サーバーテキストボックスに、運用時に接続するネットワークに設定されている DNS サーバーの IP アドレスを入力し、[OK] をクリックする。

DNS サーバーを使用しない場合は、2つのテキストボックスを空のままにして、[OK] をクリックする。Web ページを素材として再生に使用しない場合は、DNS サーバーのアドレスは設定しなくてもかまいません。

指定したアドレスがプレーヤーに設定され、VSP-NS7 機器設定ウィンドウに設定した IP アドレスが表示されます。

下の例は、192.168.1.1 という IP アドレスをプレーヤー「NS7-10001」に設定したところです。



ご注意

プレーヤーにアドレスを設定する際に、プレーヤーの再起動が行われる場合があります。表示されるメッセージをお読みください。

ヒント

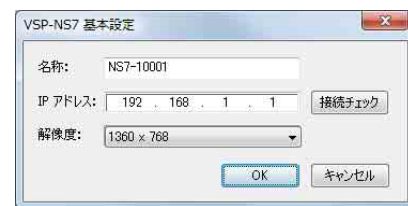
ネットワーク設定ウィンドウで「最後の設定を読み込む」をクリックすると、最後に設定を行ったときの設定値が表示されます。複数のプレーヤーに連続した IP アドレスを設定する場合などに便利です。

VSPA-D7 にプレーヤーを登録する

引き続き、プレーヤーの名称と使用するディスプレイの解像度を、設定した IP アドレスとともに VSPA-D7 に登録します。

- 1 アドレスの設定を行ったプレーヤーを VSP-NS7 機器設定ウィンドウで選択し、[基本設定] をクリックする。

選択したプレーヤーに対する VSP-NS7 基本設定ウィンドウが表示されます。



- 2 [接続チェック] をクリックする。

選択したプレーヤーとの接続が確認され、メッセージが表示されます。

- 3 使用するディスプレイの解像度を解像度ドロップダウンリストボックスで選択し、[OK] をクリックする。

ヒント

ここでプレーヤーの名称を変更することができます。変更するには、[OK] をクリックする前に、名称テキストボックスに希望の名称を入力してください。プレーヤーの IP アドレスはここでは変更しないでください。

VSP-NS7 基本設定ウィンドウが閉じ、VSPA-D7 にプレーヤーが登録されました。登録されたプレーヤーの情報は、VSP-NS7 機器設定ウィンドウに黒色の文字で表示されます。



- 4 プレーヤーを移動する場合などはプレーヤーの電源ボタンを押して電源をオフにし、ネットワークケーブルを外す。
- 5 「接続する」(8ページ)に戻って手順全体を繰り返し、すべてのプレーヤーへのアドレスとVSPA-D7への登録を行う。

2台目以降は、プレーヤーを接続した後、VSP-NS7 機器設定ウィンドウの「自動検出」をクリックして自動検出を行ってください。



その後、各プレーヤーを使用する場所に設置して、設定の続きを行います。

- ◆ 設置については「設置」(11ページ)を、設置後に行う設定については「設置後に行う設定」(12ページ)をお読みください。

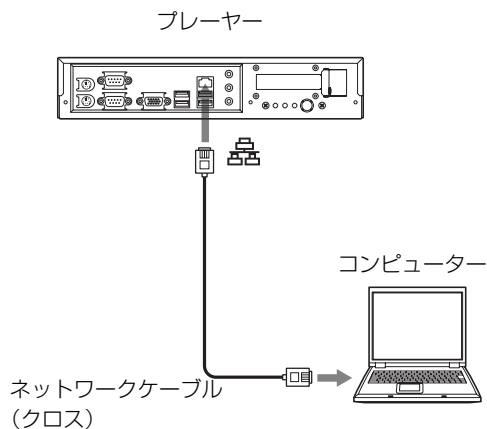
プレーヤーが自動検出されない場合は

お使いになっているネットワークでUDP2380ポートを使用した通信ができない場合は、プレーヤーが自動検出されません。そのような場合は、プレーヤーとPCを下記のどちらかの方法で接続しなおしてから、「アドレスを設定する」(8ページ)と「VSPA-D7にプレーヤーを登録する」(9ページ)の手順を続けて、アドレスの設定と登録を行ってください。

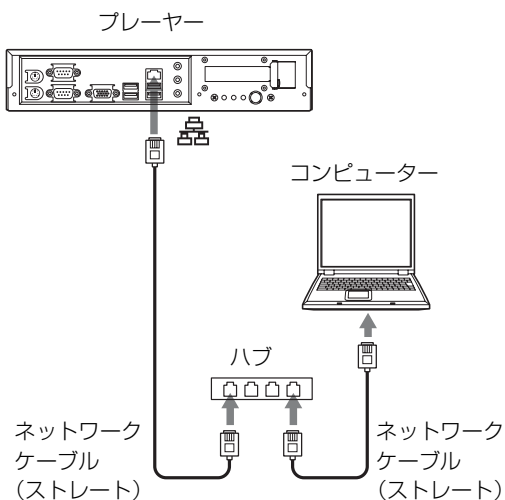
ご注意

- プレーヤーを起動するためには、ディスプレイとプレーヤーの  端子をRGBケーブルで接続する必要があります。
-  をクリックしてVSP-NS7 機器設定ウィンドウを表示させても自動検出を行うメッセージが表示されない場合は、VSP-NS7 機器設定ウィンドウの「自動検出」をクリックしてください。

プレーヤーとPCを直接接続するには



プレーヤーとPCをスイッチングハブを介して接続するには



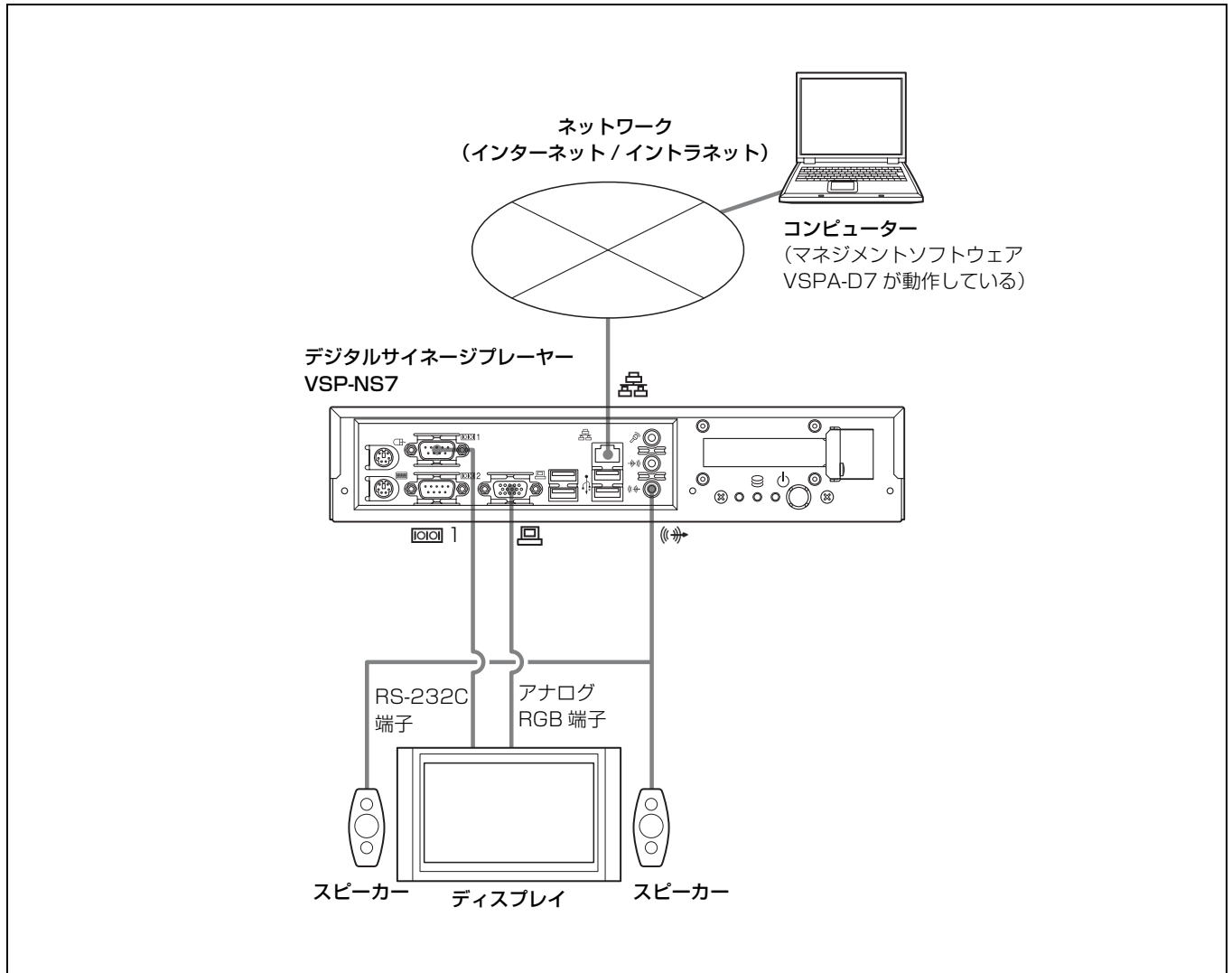
ご注意

複数台のプレーヤーを連続して接続して設定を行う場合、ハブによっては、接続したプレーヤーを認識できない場合があります。このような場合は、ハブの電源をいったん切ってから、再びオンにしてください。



設置



プレーヤーへのアドレスの設定と VSPA-D7 への登録が終了したら、実際の運用を行う場所に各プレーヤーを設置し、下図の例のように接続を行ってください。

◆ プレーヤーへのゴム製の足の取り付けや、ソニーのプロフェッショナルディスプレイモニターへのプレーヤーの取り付け方法などについては、プレーヤーの取扱説明書をお読みください。



ご注意

- ディスプレイとプレーヤーの  端子が RGB ケーブルで接続されていないと、プレーヤーを起動することができませんのでご注意ください。
- 上の図はディスプレイを RS-232C 経由で制御する場合の例ですが、ディスプレイの種類によっては、プレーヤーからネットワーク経由でディスプレイを制御することもできます。
その場合はプレーヤーの  1 ポートとディスプレイの RS-232C 端子の接続は不要です。代わりにディスプレイをネットワークに接続してください。

- ディスプレイを RS-232C 経由で制御する場合は、ディスプレイは必ず上側の  1 の RS-232C ポートに接続してください。
この  1 ポートは、ソニーの業務用ディスプレイ制御専用です。サポートされていない機器を接続してポートにデータが送信されると、誤動作を起こす可能性がありますので、ご注意ください。

設置後に行う設定

プレーヤーを設置した後、プレーヤーに関する詳細情報の設定を行い、設定をプレーヤーに送信します。

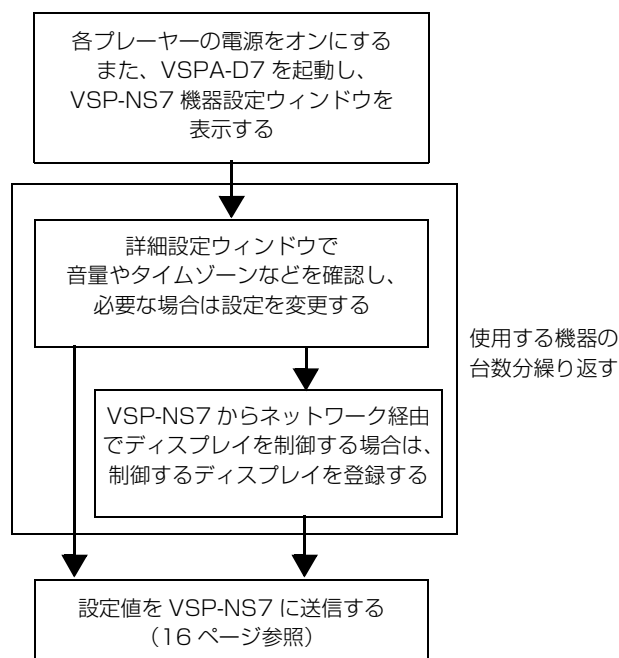
で注意

各プレーヤーは、工場出荷時にはグリニッジ標準時の 18 時に自動的に電源がオフになるように設定されています。設定作業中に電源がオフになってしまった場合は、再度電源をオンにして操作を続けてください。

プレーヤーに関する設定を行う

プレーヤーの音量や設置場所のタイムゾーンの設定を確認し、各プレーヤーに送信します。また、必要に応じてネットワークを介して制御するディスプレイの登録なども行います。

プレーヤーに関する設定の流れ




プレーヤーに関する設定の手順

1 VSP-NS7 機器設定ウィンドウで、表示されているプレーヤーのうちの 1 台を選択し、オプション設定グループの [詳細設定] をクリックする。

選択したプレーヤーに対する詳細設定ウィンドウが表示されます。



2 すべてのプレーヤーに同じ設定を行う場合は、詳細設定の名称欄で「共通設定」が選択されていることを確認し、詳細設定ウィンドウの各項目を希望通りに設定して、 をクリックする。これで「共通設定」という名称で設定値が保存されます。その後で [閉じる] をクリックして詳細設定ウィンドウを閉じ、手順 **4** に進んでください。

◆ 詳細設定ウィンドウの設定項目についてくわしくは、「詳細設定ウィンドウの項目」(13 ページ) をご覧ください。

設置場所などによってプレーヤーに異なる設定を行う場合は、選択されているプレーヤーに対応する詳細設定名を詳細設定の名称欄で選択し、[機器に適用] をクリックする。

◆ 設置場所などによってプレーヤーに異なる設定を行う場合は、あらかじめ設定値に名称をつけて保存しておく必要があります。詳細設定ウィンドウの各項目を設定し、名称をつけて保存する方法については、「プレーヤーの詳細設定の値を保存するには」(14 ページ) をご覧ください。

3 手順 **1** と **2** を繰り返して、すべてのプレーヤーの詳細設定を行う。

4 ネットワークに接続してネットワーク経由で制御するディスプレイをお使いの場合は、各プレーヤーで制御するディスプレイのアドレスを登録する。

◆ ディ스플레이のアドレスを登録する方法についてくわしくは、「ディスプレイを登録するには」(15 ページ) をご覧ください。

プレーヤーから RS-232C を介して制御するディスプレイだけをお使いの場合は、この手順は必要ありません。





プレーヤーに関する設定が終了したら、「設定データをプレーヤーに送信する」(16 ページ)の作業を行います。

詳細設定ウィンドウの項目

詳細設定ウィンドウには、次の項目が表示されます。

ツールバー

詳細設定ウィンドウのツールバーには、次のボタンがあります。

ボタン	説明
	詳細設定の名称欄で選択されている名称の詳細設定を上書き保存します。
	ウィンドウに表示されている設定値に新しく名称をつけて保存します。 名称設定ウィンドウが表示されます。
	詳細設定の名称欄で選択されている名称の設定値を削除します。
	設定値の名称を変更するためのウィンドウを表示します。

詳細設定の名称

現在ウィンドウに表示されている詳細設定の名称です。ドロップダウンリストボックスで他の名称を選択すると、その名称で保存されている設定値が表示されます。詳細設定を何も保存していない場合は、「共通設定」という名称だけがここに表示されます。詳細設定の操作を行わなかったプレーヤーには、「共通設定」の値が設定されます。

システム：音量


プレーヤーの出力する音量の標準値を設定します。

システム：タイムゾーン

プレーヤーが設置されている場所のタイムゾーンを選択します。通常は設定を変更する必要はありません。

システム：夏時間

プレーヤーの夏時間での運用を開始するときに、ここにチェックマークをつけて設定を送信します。また、夏時間での運用を終了するときには、チェックマークをクリアして設定を送信します。

VSP-NS7 機器設定ウィンドウでは、夏時間が設定されているプレーヤーに夏時間のマーク  が表示されます。

ご注意

夏時間の補正は、プレーヤーでは自動的には行われません。運用の切り換え時に手動で設定を変更し、送信してください。

- ◆「プレーヤーに関するその他の設定を変更する」(17 ページ)もあわせてお読みください。

時間補正 (NTP) を使用する

システム設定ウィンドウで、VSPA-D7 が動作している PC の時間にすべてのプレーヤーの時間を合わせるように設定した場合は、ここでは設定を変更する必要はありません。システム設定ウィンドウで、この PC の時間に同期させるチェックボックスをクリアした場合は、下記のように設定を行います。

プレーヤーの時間を常に合わせておくには、時間補正 (NTP) を使用するチェックボックスにチェックマークをつけ、NTP サーバーのアドレステキストボックスに時間の基準となるコンピューター (NTP サーバー) の IP アドレスを入力します。
プレーヤーの時間を合わせておく必要がない場合は、時間補正 (NTP) を使用するチェックボックスをクリアします。

ご注意

プレーヤーは内部にあるシステム時計を使用してスケジューリング再生を行いますが、この内部のシステム時計には、ふつうの時計と同様、時間のずれが発生します。時間補正を使用しない設定にする場合は、VSPA-D7 のメンテナンス画面でプレーヤー一台一台の時間を確認して時刻合わせを行ってください。

- ◆ VSPA-D7 のメンテナンス画面については、VSPA-D7 の取扱説明書をお読みください。

接続に関する設定変更

プレーヤーと通信を行う際に、プレーヤーが接続を許可する条件となるパスワードや HTTP のポート番号を変更する場合は、それぞれのテキストボックスに希望のパスワードやポート番号を入力します。

ご注意

- プレーヤーには、工場出荷時にあらかじめパスワードと HTTP のポート番号の初期値 (4980) が設定されています。いったん設定を変更した後で、パスワードおよび HTTP (ポート番号) 欄を空欄にすると、工場出荷時の設定が適用されます。
- インターネットなど、外部のネットワークにプレーヤーを接続する場合は、パスワードを変更することをおすすめします。
- パスワードやポート番号を変更した場合は、変更後のパスワードやポート番号を記録しておいてください。VSPA-D7 が動作している PC が故障すると変更したパスワードやポート番号がわからなくなり、プレーヤーに接続できなくなる可能性があります。

URLでプロキシサーバーを使用する

プレーヤーを使用したコンテンツの再生で Web ページを素材のひとつとして表示する場合に、プロキシサーバーを使用するかどうかを設定します。

プロキシサーバーを使用する場合は、URL でプロキシサーバーを使用するチェックボックスにチェックマークをつけ、プロキシサーバーの IP アドレスとポートをそれぞれのテキストボックスに入力してください。

また、プロキシサーバーを経由せずにアクセスしたいサイトがある場合は、そのアドレスを指定します。

で注意

プロキシサーバーについては、ネットワークの管理者にお問い合わせください。

コンテンツの自動削除：VSP-NS7 内のコンテンツをスケジュール終了 30 日後に自動で削除する

チェックボックスにチェックマークをつけることによって、プレーヤーに使用済みの素材などが蓄積されて、容量が足りなくなるのを防ぐことができます。素材などのコンテンツは、スケジュール再生終了日の 30 日後以降にプレーヤーを起動した際、自動的に削除されるようになります。チェックマークなしの状態ですべて自動削除を行わないようにしている場合は、時おりプレーヤーの内容を個別にチェックして、手動削除を行う必要があります。

機器に適用ボタン

詳細設定の名称欄で選択されている名称の設定値を、VSP-NS7 機器設定ウィンドウで選択されているプレーヤーに設定します。

閉じるボタン

詳細設定ウィンドウを閉じます。

プレーヤーの詳細設定の値を保存するには

詳細設定ウィンドウにある設定値は、名称をつけて VSPA-D7 に保存しておくことができます。この機能は複数の設定値を管理する場合に便利です。

保存しておいた設定値は、詳細設定ウィンドウの詳細設定の名称欄で選択し、[機器に適用] をクリックすることで、各プレーヤーに設定することができます。この操作をしないでおいたプレーヤーには「共通設定」という名称で保存されている値が設定されます。

詳細設定の値は、次の手順で保存できます。


- 1 VSP-NS7 機器設定ウィンドウで、表示されているプレーヤーのうちの 1 台を選択し、オプション設定グループの [詳細設定] をクリックする。

選択したプレーヤーに対する詳細設定ウィンドウが表示されます。



- 2 詳細設定ウィンドウの各項目を希望通りに設定する。

◆ 詳細設定ウィンドウの設定項目についてくわしくは、「詳細設定ウィンドウの項目」(13 ページ)をご覧ください。

- 3 詳細設定ウィンドウのツールバーで  をクリックする。

名称設定ウィンドウが表示されます。


- 4 名称テキストボックスに、現在の表示されている設定値に対応する名称を入力し、[OK] をクリックする。

これで入力した名称で設定値が保存されます。詳細設定の名称ドロップダウンリストボックスには、入力した名称が自動的に表示されます。


- 5 新しく保存した設定値を手順 1 で選択したプレーヤーに設定する場合は、[機器に適用] をクリックする。

- 6 [閉じる] をクリックして詳細設定ウィンドウを閉じる。

保存されている詳細設定を変更するには

詳細設定の名称ドロップダウンリストボックスで変更したい設定の名称を選択すると、ウィンドウに設定値が呼び出されます。希望どおりに各項目を変更してから、ツールバーの  をクリックしてください。

保存されている詳細設定を削除するには

詳細設定の名称ドロップダウンリストボックスで削除したい設定の名称を選択して、ウィンドウに設定値を呼び出します。それからツールバーの  をクリックします。メッセージが表示された後、選択した名称の設定が削除され、詳細設定ウィンドウには共通設定が表示されます。

保存されている詳細設定の名称を変更するには

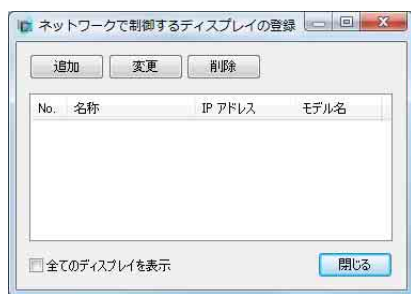
詳細設定の名称ドロップダウンリストボックスで変更したい設定の名称を選択して、ウィンドウに設定値を呼び出します。それからツールバーの **1** をクリックします。表示される名称設定ウィンドウで名称を変更し、[OK] をクリックしてください。

ディスプレイを登録するには

各プレーヤーは RS-232C を介して 1 台、およびネットワークを介して 4 台までのディスプレイを制御することができます。ネットワークを介して制御するディスプレイをお使いの場合は、制御を行うプレーヤーにディスプレイを登録しておく必要があります。

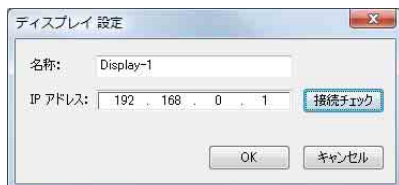
- 1 VSP-NS7 機器設定ウィンドウで、希望のプレーヤーを選択し、オプション設定グループの [ディスプレイ登録] をクリックする。

ネットワークで制御するディスプレイの登録ウィンドウが表示されます。



- 2 [追加] をクリックする。

ディスプレイ設定ウィンドウが表示されます。



- 3 選択しているプレーヤーからネットワークを介して制御するディスプレイの名称と指定されている IP アドレスをそれぞれのテキストボックスに入力し、[接続チェック] をクリックする。

ディスプレイとの接続チェックが行われ、メッセージが表示されます。

- 4 [OK] をクリックする。

ディスプレイ設定ウィンドウが閉じ、ネットワークで制御するディスプレイの登録ウィンドウに、登録したディスプレイが表示されます。



- 5 同じプレーヤーでネットワークを介して制御するディスプレイが他にある場合は、手順 2 から 4 を繰り返して登録する。

このプレーヤーに登録するディスプレイが他にない場合は、[閉じる] をクリックしてネットワークで制御するディスプレイの登録ウィンドウを閉じる。

- 6 手順 1 から 5 を繰り返して、ネットワークを介して制御するすべてのディスプレイを、それぞれ対応するプレーヤーに登録する。

ヒント

ネットワークで制御するディスプレイの登録ウィンドウで全てのディスプレイを表示チェックボックスにチェックマークをつけると、次のようにすでにいずれかのプレーヤーに登録されているディスプレイがすべて表示されます。(現在選択されているプレーヤーに登録されているディスプレイは黒字で、それ以外のプレーヤーに登録されているディスプレイはグレーの文字で表示されます)



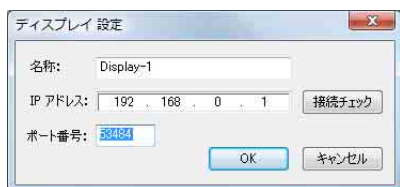
このリストで、ディスプレイの登録が全部終了しているかどうかを確認することができます。

また、このウィンドウに黒字で表示されているディスプレイを選択し、ディスプレイの名称や IP アドレスを変更したり、登録を削除したりすることができます。

名称や IP アドレスを変更する場合は、希望のディスプレイを選択して [変更] をクリックします。
登録を削除する場合は、ディスプレイを選択して [削除] をクリックします。

ディスプレイとの接続に失敗した場合は

手順 3 で接続チェックをしたときにディスプレイとの接続に失敗した場合は、メッセージとともにディスプレイ設定ウィンドウにポート番号テキストボックスが表示されます。



プレーヤーは、このテキストボックスに表示されている番号のポートを使用して、ディスプレイと通信を行います。別のポート番号を使用して通信を行うようにディスプレイ側に設定してある場合は、そのポート番号をテキストボックスに入力し、もう一度接続チェックを行ってください。それ以外の場合は、IP アドレスを確認してください。

設定データをプレーヤーに送信する

プレーヤーに関する設定が完了したら、設定値を各プレーヤーに送信します。

- 1 VSP-NS7 機器設定ウィンドウで送信状態欄が「未送信」になっているプレーヤーを選択し、[設定の送信] をクリックする。

複数のプレーヤーを選択するには、Ctrl キーを押しながら希望のプレーヤーをクリックします。
ある範囲のプレーヤーをすべて選択するには、Shift キーを押しながら、範囲の先頭と最後のプレーヤーを順番にクリックします。

システム設定ウィンドウの VSP-NS7 運用時間、VSP-NS7 時間合わせ、基本設定ウィンドウのプレーヤーの名称と解像度、詳細設定ウィンドウのすべての項目の設定値が、プレーヤーに送信されます。
送信が終了するとメッセージが表示され、送信のステータスがリストに表示されます。
データを受信した各プレーヤーでは自動的に再起動が行われます。




- 2 設定データのプレーヤーへの送信作業が終わったら、VSP-NS7 機器設定ウィンドウの [閉じる] をクリックする。

VSP-NS7 機器設定ウィンドウが閉じます。

運用開始後の設定変更

運用を開始した後でプレイヤーを増設する、または一部のプレイヤーをシステムの管理下から削除するなど、設定を変更するには、次の手順で行います。



プレイヤーを追加する

- 1 「プレイヤーへのアドレス設定と VSPA-D7 への登録を行う」(8 ページ)を参照して、追加するプレイヤーすべてにアドレスを設定し、VSPA-D7 への登録を行う。
- 2 「設置」(11 ページ)を参照して、アドレスを設定したプレイヤーを設置する。
- 3 「プレイヤーに関する設定を行う」(12 ページ)を参照して、必要に応じて追加するプレイヤーの詳細設定やネットワークを介して制御するディスプレイの登録を行う。
- 4 「設定データをプレイヤーに送信する」(16 ページ)を参照して、追加するプレイヤーに設定値を送信する。
- 5  ボタンをクリックする。

グループ設定ウィンドウが表示されます。
- 6 追加するプレイヤーをいずれかのグループに登録する。または、新しくグループを作成してそこに登録する。

◆ グループに関する操作については、VSPA-D7 の取扱説明書をお読みください。



プレイヤーを削除する

- 1 VSPA-D7 の  ボタンをクリックして、設定に関連するボタンを表示させ、 ボタンをクリックする。

VSP-NS7 機器設定ウィンドウが表示されます。
- 2 削除するプレイヤーを選択し、手動設定グループの [削除] をクリックして削除する。

プレイヤーのアドレスを変更する

◆ ネットワーク設定ウィンドウの詳細については、「プレイヤーへのアドレス設定と VSPA-D7 への登録を行う」(8 ページ)もあわせてお読みください。

- 1 VSPA-D7 の  ボタンをクリックして、設定に関連するボタンを表示させ、 ボタンをクリックする。

VSP-NS7 機器設定ウィンドウが表示されます。
- 2 アドレスを変更するプレイヤーを選択し、[ネットワーク設定] をクリックする。


選択したプレイヤーに対するネットワーク設定ウィンドウが表示されます。
- 3 「次のアドレスを使う」の下にある IP アドレステキストボックスに、希望の IP アドレスとサブネットマスクを入力する。
- 4 必要に応じてデフォルトゲートウェイ、優先 DNS サーバーおよび代替 DNS サーバーテキストボックスの設定を変更し、[OK] をクリックする。

指定したアドレスが選択したプレイヤーに設定され、VSP-NS7 機器設定ウィンドウに設定した IP アドレスが表示されます。

プレイヤーに関するその他の設定を変更する

下記の設定を変更した場合は、変更後の設定値をプレイヤーに送信する必要があります。

- システム設定ウィンドウで設定する VSP-NS7 運用時間と VSP-NS7 時間合わせ
- VSP-NS7 機器設定の基本設定ウィンドウで設定するプレイヤーの名称と解像度
- VSP-NS7 機器設定の詳細設定ウィンドウで設定するすべての項目
- VSP-NS7 機器設定のネットワークで制御するディスプレイの登録ウィンドウで登録するディスプレイの情報

- 1 VSPA-D7 の  ボタンをクリックして、設定に関連するボタンを表示させる。
- 2 変更する設定項目に応じたボタンをクリックして、設定ウィンドウを表示させる。

- 3 希望の項目を変更する。
- 4 設定値をプレーヤーに送信する。
 - ◆ 設定値の送信についてくわしくは「設定データをプレーヤーに送信する」（16 ページ）をご覧ください。

データのバックアップ

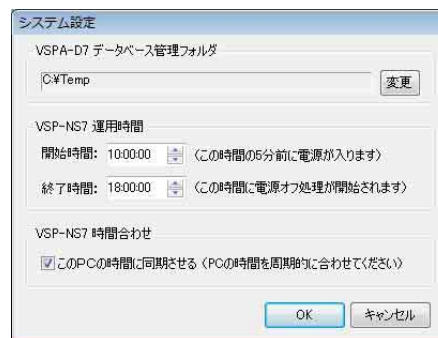
システムで使用する素材やスケジュール、設定データは、別の場所にバックアップとして保存しておくことができます。ハードディスクの故障や PC の置き換えなどに備えて、定期的にバックアップすることをおすすめします。

素材やスケジュール、設定データをバックアップする

VSPA-D7 は、システム設定ウィンドウで設定するデータベース管理フォルダの VspaData フォルダに、すべてのデータを保存しています。次の手順でフォルダを確認し、データをコピーしてください。

- 1 VSPA-D7 の **設定** ボタンをクリックして設定に関連するボタンを表示させる。
- 2 **システム設定** ボタンをクリックする。

システム設定ウィンドウが表示されます。



- 3 VSPA-D7 データベース管理フォルダ欄のフォルダを確認する。
- 4 指定されているフォルダにある VspaData フォルダをバックアップ用のメディアにコピーする。たとえばフォルダ欄に「C:\¥Documents and Settings¥All Users¥Documents」と表示されている場合は、C:\¥Documents and Settings¥All Users¥Documents フォルダにある VspaData フォルダを、Windows のエクスプローラなどで別のハードディスクやネットワークドライブにコピーします。

バックアップされていたデータを使用する

VSPA-D7が動作しているPCを別のPCに置き換えたり、ハードディスクを交換した場合などは、バックアップしてあった素材やスケジュール、設定データをコピーして運用を続けることができます。

作成したデータや設定をPC内のハードディスクに保存して運用する場合は

バックアップしておいたVspaDataフォルダを、VSPA-D7データベース管理フォルダに指定されているフォルダにコピーしてください。



たとえば、システム設定ウィンドウのデータベース管理フォルダがC:\Documents and Settings\All Users\Documentsとなっている場合は、Windowsのエクスプローラなどで、そのC:\Documents and Settings\All Users\DocumentsフォルダにVspaDataフォルダをコピーします。その後、VSPA-D7を起動すれば、以前と同様に操作が行えます。

ヒント

バックアップしておいたVspaDataフォルダを希望の場所にコピーし、下記の「作成したデータや設定をサーバーなどに保存して運用している場合は」の手順でVspaDataフォルダをコピーした場所をVSPA-D7データベース管理フォルダに指定することもできます。

作成したデータや設定をサーバーなどに保存して運用している場合は

素材やスケジュール、設定データをサーバーなどネットワーク上のドライブに保存して運用を行う場合は、次の手順でバックアップしておいたデータを使用します。

- 1 VSPA-D7を起動する。
- 2 システム設定ウィンドウが表示されない場合は
 ボタンをクリックして設定に関連するボタンを表示させ、 ボタンをクリックする。

システム設定ウィンドウが表示されます。
- 3 「VSPA-D7データベース管理フォルダ」の「変更」をクリックし、VspaDataフォルダがある場所をデータベース管理フォルダに指定する。

システム設定ウィンドウの各項目の設定が以前の設定と同じになります。

- 4 システム設定ウィンドウの「OK」をクリックする。

システム設定ウィンドウが閉じます。
これで以前と同様に操作が行えます。

プレイヤーの設定の反映

この章では、VSPA-D7に登録されているプレイヤーの設定値と、実際にプレイヤーに設定されている値が合致しなくなってしまう場合に、VSPA-D7に登録されている設定値を変更する方法について説明します。

プレイヤーに関する設定を行ったVSPA-D7が使用できなくなり、VSPA-D7をインストールした別のPCを使用する場合を除き、通常は、ここに書かれている操作は必要ありません。

プレイヤーのアドレスをVSPA-D7に登録する

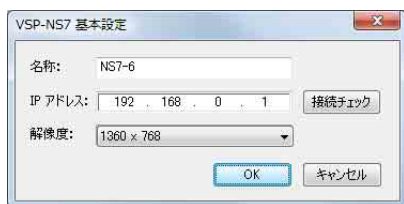
通常はVSPA-D7を使用してプレイヤーにIPアドレスを設定するため同時にVSPA-D7にプレイヤーが登録されますが、各プレイヤーにはすでにIPアドレスが設定されているのにVSPA-D7側にはそのデータがなく、通信ができないような場合に、下記の手順でプレイヤーとそのIPアドレスを手動で登録することができます。

- 1 各プレイヤーの接続を確認し、電源を入れる。
また、VSPA-D7の **設定** ボタンをクリックして、設定に関連するボタンを表示させ、**VSP-NS7機器設定** ボタンをクリックする。

VSP-NS7 機器設定ウィンドウが表示されます。

- 2 手動設定グループの「登録」をクリックする。

VSP-NS7 基本設定ウィンドウが表示されます。



- 3 登録するプレイヤーの名称とIPアドレスをそれぞれのテキストボックスに入力し、「接続チェック」をクリックする。

プレイヤーとの接続チェックが行われ、メッセージが表示されます。

- 4 解像度ドロップダウンリストボックスでプレイヤーで使用する画面の解像度を選択し、「OK」をクリックする。

VSP-NS7 基本設定設定ウィンドウが閉じ、VSP-NS7 機器設定ウィンドウに、登録したプレイヤーが表示されます。

- 5 手順2から4を繰り返してプレイヤーをすべて登録する。
- 6 システム設定ウィンドウの設定値を確認し、必要な場合はVSP-NS7 運用時間とVSP-NS7 時間合わせの設定を変更する。
- 7 「プレイヤーに関する設定を行う」(12 ページ)を参照してプレイヤーに関する設定を確認し、必要な場合は設定を変更する。
- 8 「設定データをプレイヤーに送信する」(16 ページ)を参照して設定データをプレイヤーに送信する。

プレイヤーに指定されているパスワードとHTTPポート番号をVSPA-D7に設定する

通常はVSPA-D7を使用して、プレイヤーが通信を行う際に使用するパスワードとHTTPポート番号を設定するため、VSPA-D7とプレイヤーの通信には問題はありませんが、VSPA-D7で管理している設定データと実際にプレイヤーに設定されているデータが合致しなくなってしまう場合に、プレイヤーに設定されているデータをVSPA-D7に設定し直すことができます。

ご注意

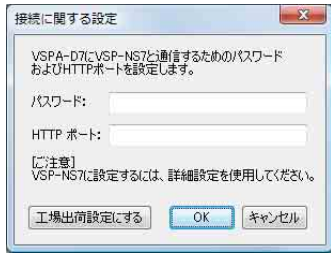
この操作は、プレイヤーに設定されているパスワードと使用するHTTPポート番号のデータを取得するものではありません。また、パスワードや使用するHTTPポート番号をプレイヤーに設定するものでもありませんので、ご注意ください。

- 1 VSPA-D7の **設定** ボタンをクリックして、設定に関連するボタンを表示させ、**VSP-NS7機器設定** ボタンをクリックする。

VSP-NS7 機器設定ウィンドウが表示されます。

- 2 希望のプレイヤーを右クリックし、表示されるメニューの「接続に関する設定」を選択する。

接続に関する設定ウィンドウが表示されます。



- 3** 選択したプレーヤーで通信に使用されるパスワードと HTTP ポート番号を、それぞれのテキストボックスに入力し、[OK] をクリックする。
または、[工場出荷設定にする] をクリックする。

どちらの場合も、接続に関する設定ウィンドウが閉じます。

パスワードと HTTP ポート番号を入力した場合は、選択したプレーヤーとの通信に使用するよう、入力されたパスワードと HTTP ポート番号が VSPA-D7 内に保存されます。

[工場出荷設定にする] をクリックした場合は、工場出荷時にプレーヤーに設定されているパスワードと HTTP ポート番号が VSPA-D7 内に保存されます。

- 4** 手順 **2** と **3** を繰り返して、各プレーヤーに指定されているパスワードと使用する HTTP ポート番号を VSPA-D7 に設定する。

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>